

平成29年度 推薦入試 (第1類)

学生募集要項

出願期間	平成28年12月15日(木)～12月19日(月)
合格者発表日	平成29年 2月 7日(火)
入学手続日	平成29年 2月15日(水)



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

東京工業大学が求める学生像

創(つくり)り拓(ひらく)理系人(りけいびと)たれ

—入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凜とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるものすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをも有します。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がり可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組みながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさぐっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 「理系」であることに「自信」を持っていること。
2. 「理系」であることに「誇り」を持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを活用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかりと自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すくすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであると同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を一。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

入学者に求める資質と能力

科学・技術への知的好奇心と探究心を有し、

基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます

東京工業大学は、学士、修士、博士、及び専門職学位の取得を目指す各課程の教育目標に基づいて、充実した基礎教育、教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育、「ものづくり」を基本とする実学教育、創造性を育む実習教育、最先端の研究を核として高度な技術者・研究者を養成する専門教育、国際連携を活用した教育など、世界に冠たる理工系総合大学に相応しい教育を行います。

そこで、本学の学士課程では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

学士課程

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している

入学者に求める能力と適性

【理学院】

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】

工学院学士課程では、人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】

物質理工学院学士課程では、材料学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち、環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- ・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し、柔軟な発想ができる人
- ・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】

情報理工学院学士課程では、よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
- ・数理科学に興味を持ち、コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
- ・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】

生命理工学院学士課程では、理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで、本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- ・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- ・生命現象を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学の叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系科目を中心とする確実な基礎学力を持つ人
- ・学士課程の勉学をするために必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のために主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

I. 求める学生像

第1類は幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

1. 自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
2. 教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
3. 自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
4. 十分な学力と表現力を持つ人

II. 募集人員

類	募集人員	所属可能な学院	系
第1類	10人	理学院	数学系
			物理学系
			化学系
			地球惑星科学系
		情報理工学院	数理・計算科学系

※募集人員は上記のとおりです。なお、右側は2年目以降で所属可能な学院・系を示しています。

III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、学校長が責任をもって推薦できる者とする。

1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を平成29年3月修了見込みの者

IV. 推薦要件等

1. 推薦人員

学校長が下記の推薦要件①及び②により推薦できる人数は合計2名までとします。
推薦要件③により推薦できる人数は制限がありません。

2. 推薦要件

理学における高い能力を示す下記の①、②、③のいずれかに該当し、学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合には必ず入学することを確約できる者。

- ① 正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし、優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者

課題研究の例 1. SSHの課題研究で〇〇〇に関する研究を行い、県や全国の会で発表。

課題研究の例 2. 卒業研究として〇〇〇に関する研究を行い、校内で発表。

課題研究の例 3. 総合学習で行った研究成果を大学主催の研究会で発表。

- ② 課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要）、それをとりまとめて校外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者

課外活動の例 1. 〇〇部のクラブ活動で2年間継続して研究を実施し、校外で発表。

課外活動の例 2. 夏休みに10日間継続して△△で野外調査を実施し、校外で発表。

課外活動の例 3. □□年度のスーパーコンピューティングコンテストに参加し入賞。

- ③ 数学、物理、化学、地学、情報のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者、又は国際科学オリンピックの国内最終予選に相当する大会等で優秀な成績を収めた者

※ 上記の推薦要件①及び②における「優れた成果」とは、学校内で現在及び過去の生徒との比較において特に優れていると学校長が認定できるものを指します。

V. 出 願

1. 出願期間 **平成28年12月15日(木)～12月19日(月)(12月19日必着)**
2. 出願方法 **郵送のみ受け付けます。出願書類等は、必ず当該学校長からの提出とします。**
 本学所定の封筒に入れ、必ず「速達書留」で郵送してください。
 なお、志願者数名分の出願書類等をまとめて郵送する場合は、1名分ごとに本学所定の封筒に封入し、別の封筒(任意)にとりまとめて「推薦入試願書〇名分在中」と朱書のうえ、「速達書留」で郵送してください。
3. 出願書類等 出願書類のうち、ア、イ、エ、オ、キ及びクは本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 入学志願票・電算処理票	必要事項(太枠内)を記入してください。記入漏れのないようにし、用紙は切り離さないでください。
イ 写真票・受験票・受理票	写真票・受験票・受理票の必要箇所(太枠内)に志願者の氏名・フリガナを記入し、写真票の写真欄には、半身脱帽正面向で出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、カラー白黒問わず)を貼ってください。また、受験票裏面に志願者の郵便番号・住所及び氏名を、受理票裏面に当該学校の郵便番号・住所及び学校名を記入し、それぞれに52円切手を貼ってください。受験票及び受理票発送は12月26日(月)の予定です。1月4日(水)までに届かない場合は、1月5日(木)以降入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入試センター試験成績請求票	大学入試センターから交付された、平成29センター試験成績請求票のうち、『 推薦 国公立推薦入試用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 推薦書(様式1)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦要件① 推薦書(課題研究用) ・推薦要件② 推薦書(課外活動用) ・推薦要件③ 推薦書(国際科学オリンピック又はその国内最終予選相当の大会等の出場者用) のいずれかの様式を用いて、当該学校長が記載してください。様式は本募集要項には添付しておりません。本学ホームページ(巻末参照)よりダウンロードして(word形式)作成してください。※注意事項をよく確認したうえで作成してください。
オ 研究内容の要約(様式2)	<ul style="list-style-type: none"> ・推薦要件① 課題研究の内容の要約(課題研究用) ・推薦要件② 課外活動における研究の内容の要約(課外活動用) のいずれかの様式を用いて、志願者本人が記載してください。様式は本募集要項には添付しておりません。本学ホームページ(巻末参照)よりダウンロードして(word形式)作成してください。※注意事項をよく確認したうえで作成してください。 ・推薦要件③による出願の場合は不要です。
カ 調査書	学校長が発行した調査書(厳封されたもの)を提出してください。
キ 入学検定料	17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関(三井住友銀行を利用した場合、手数料無料)で払い込み、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。なお、 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。
ク 住所票	志願者及び当該学校の住所、氏名等を記入してください。
ケ その他(該当者のみ)	日本国籍を有しない者は、市区町村発行の住民票(外国人)の写し又はビザのコピーを提出してください。 ※ただし、「住民票(外国人)の写し」をコピーしたものは不可。

4. 障害等のある志願者は、修学上の配慮を必要とすることがありますので、事前に入試課に申し出てください。

VI. 推薦書記載事項 (学校長による記載)

各推薦要件における推薦書記載事項について

1. 推薦要件① 推薦書 (課題研究用)
 - ・ 課題研究を行った科目名 (総合的な学習等の一部として行った場合も含む)
 - ・ 当該課題研究が特に優れていると判断される理由
 - ・ 学業や人物に関する所見
2. 推薦要件② 推薦書 (課外活動用)
 - ・ 課外活動で行った研究の題目
 - ・ 当該課外活動における研究が特に優れていると判断される理由
 - ・ 学業や人物に関する所見
3. 推薦要件③ 推薦書 (国際科学オリンピック又はその国内最終予選相当の大会等の出場者用)
 - ・ 出場した国際科学オリンピック又はその国内最終予選に相当する大会等について (名称・開催年月・開催場所, 入賞記録等の成績)
 - ・ 学業や人物に関する所見
 - ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。

VII. 研究等の内容の要約 (志願者本人による記載)

1. 推薦要件① (課題研究) の場合
 - ・ 課題研究の内容の要約
 - ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。
2. 推薦要件② (課外活動) の場合
 - ・ 課外活動における研究の内容の要約
 - ・ 添付資料及びその簡単な説明 (2点以内)
※添付資料 (図や写真及びそれらの説明等) は合計でA4片面4ページ以内とします。
3. 推薦要件③ (国際科学オリンピック又はその国内最終予選相当の大会等の出場者) の場合
 - ・ 提出不要

VIII. 入学者選抜方法

個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験の成績, 出願書類及び調査書を総合的に評価して合格者を決定します。

IX. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は, 以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお, 指定された教科・科目を1つでも受験しない場合は, 本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史, 公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」から1科目
数学	「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」の2科目
理科	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1科目

注. 「地理歴史, 公民」において, 指定した科目数を超えて受験した場合には第1解答科目の得点を用います。ただし第1解答科目が本学が指定した科目でない場合には, 出願することができません。(この場合の第1解答科目とは, 「地理歴史, 公民」の試験時間に2科目を受験した場合において, 前半の60分間で解答した科目のことをいいます。)

X. 合格者発表

1. 平成29年2月7日(火)13時頃よりホームページ(巻末参照)に掲載します。(PDF形式) 本学の掲示板等には掲示しません。また、合格者発表と同時に合格者に対して、合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。
2. 可否に関しての電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

XI. 入学手続等

入学手続は郵送のみで行います。

手続者は事前に(合格発表後～2月10日(金)までに)本学学務部教務課宛(E-mail: gak.nyutetsu@jim.titech.ac.jp)に必要事項を連絡したうえで、2月15日(水)必着とし、必要書類を速達書留により郵送してください。連絡する必要事項など詳細な手続事項は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

なおE-mailによる連絡が困難な場合は、電話(03-5734-3004)により連絡してください。

事前の連絡が無く、かつ必要書類が期限までに届かない場合は、入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学手続は一切認められません。

1. 入学料 282,000円(予定)は、所定の払込取扱票を用い、金融機関窓口(三井住友銀行を利用した場合、手数料無料)で2月10日(金)までに払い込んでください。
入学料免除・徴収猶予を希望する場合は、払い込まず必要書類を郵送してください。
2. 授業料について
 - (1) 授業料は、前期分・後期分各267,900円(年額535,800円)(予定)です。
納入は、前期分5月末まで、後期分11月末までとなっています。
入学後、口座振替での納付となりますので、3月9日(木)に本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。(やむを得ず口座振替での納付ができない場合には、振込取扱票による振込も可。)
なお、授業料免除・徴収猶予を希望する場合は、授業料を払い込まず本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。
 - (2) 授業料は希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせた年額を納付することができます。
 - (3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
3. その他諸経費
 - A 各種保険等(30,000円程度)
 - I その他

XII. 入学辞退

推薦入試の合格者の入学辞退は認められません。ただし、特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ、推薦を行った学校長からの「推薦入学辞退願」(様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由を必ず記載)を、本学入試課に提出し、辞退の許可を得てください。提出期限は、郵便による提出の場合は速達書留で平成29年2月10日(金)必着、窓口で直接提出する場合は平成29年2月13日(月)12:00までとします。許可された者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試を受験することが認められます。

XIII. 推薦入試出願者の一般入試への出願

本学の推薦入試出願者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試に出願することができます。ただし、本学推薦入試に合格した場合、本学又は他の国公立大学の一般入試を受験しても合格の対象とはならないので注意してください。(XII. 入学辞退により辞退が許可された者を除く)

なお、本学推薦入試に合格し入学手続を行った者で、本学の一般入試の受験を希望する場合は、事前に本学入試課に相談してください。

XIV. 個人情報の取扱い

1. 出願にあたり知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用することがあります。
3. 上記1及び2の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
ついては、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
5. 出願にあたり知り得た個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

XV. 注意事項

1. 出願後の提出書類の内容変更は認めません。記入時には十分注意してください。
2. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
3. 出願書類の情報については、入試及び入試関連業務のみに使用します。
4. 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 入試に関する最新情報は、本学ホームページの「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）で公表しますので、ご注意ください。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-W8-103

TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く))

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ <http://www.titech.ac.jp/>

「高校生・受験生向けサイト」 <http://admissions.titech.ac.jp/>

MAP

- 大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線 (大岡山駅下車徒歩 1分)
- すずかけ台キャンパス 東京急行田園都市線 (すずかけ台駅下車徒歩 5分)
- 田町キャンパス JR 山手線・京浜東北線 (田町駅下車徒歩 2分)

